

作 業 報 告 書

No (5)

報告者職氏名	
作業日時	令和 5年 11月 4日 9時 30分 ~ 10時 50分
作業内容	<p>スーパー千鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・操舵室・1階及び, 2階客室空調機運転点検 ・機関室送風機送風機作動テスト
特記事項	<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 9:35~9:45 1,000rpm 9:45~10:45 定格回転数(60Hz) 船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 9:50~右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 9:55~左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドル時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 10:05~10:15(アイドル回転数), 10:15~10:30 (1,000rpm) で暖機運転および点検 10:30~10:35 (1,800rpm) 10:05~10:15 (アイドル回転時, 両舷前後進テスト) <p>3 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舵機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>3 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,750ℓ ・左舷燃料タンク残 1,700ℓ <p>4 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開限リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・左右の主機関清水圧力に圧力差がなくなっている。 1,000回転時 (左0.112MPa・右0.113MPa)、1,800回転時 (左0.188MPa・右0.198MPa) ・右舷主機関清水補給 (約2ℓ)

作 業 報 告 書

No (6)

報告者職氏名	
作業日時	令和 5年 11月 18日 10時 05分 ~ 11時 30分
作業内容	スーパー千鳥 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補機関および両舷主機関暖機運転 ・ 自動タラップ開閉テスト ・ 両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・ 操舵機作動テスト ・ 各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・ 各アース点検 ・ サニタリーポンプ作動テスト及び点検 ・ 機関室送風機送風機作動テスト
特記事項	<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補機関潤滑油および冷却水確認 10:10~10:20 1,000rpm 10:20~11:20 定格回転数(60Hz)船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・ 両舷潤滑油プライミングポンプ起動 10:25~右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 10:30~左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・ 両主機関アイドリング時, 各部位点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 10:35~10:50(アイドリング回転数), 10:50~11:05 (1,000rpm) で暖機運転および点検 11:05~11:10 (1,800rpm) 10:35~10:50 (アイドリング回転時, 両舷前後進テスト) <p>3 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舷機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>3 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 右舷燃料タンク残 1,750ℓ ・ 左舷燃料タンク残 1,700ℓ <p>4 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・ 両舷自動タラップ開限リミットスイッチ不良。 ・ 左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・ 右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては、燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。)

特記事項

・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。(清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い)
清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.085MPa	0.100MPa
1,000rpm時	0.100MPa	0.122MPa
1,800rpm時	0.170MPa	0.200MPa

参考：11月4日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	MPa	MPa
1,000rpm時	0.112MPa	0.113MPa
1,800rpm時	0.188MPa	0.198MPa

作 業 報 告 書

No. (7)

報告者職氏名	
作業日時	令和 5年 12月 2日 9時 55分 ~ 11時 10分
作業内容	<p>スーパー千鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・サニタリーポンプ作動テスト及び点検 ・機関室送風機送風機作動テスト
特記事項	
<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 10:00~10:10 1,000rpm 10:10~11:05 定格回転数(60Hz)船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 10:15~右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 10:20~左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドル時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 10:25~10:40(アイドル回転数), 10:40~10:50 (1,000rpm) で暖機運転および点検 10:50~10:55 (1,800rpm) 10:25~10:40 (アイドル回転時, 両舷前後進テスト) <p>3 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舷機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>3 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,730ℓ ・左舷燃料タンク残 1,680ℓ <p>4 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開閉リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては、燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。) 	

特記事項

- ・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。(清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い)
清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.090MPa	0.105MPa
1,000rpm時	0.110MPa	0.125MPa
1,800rpm時	0.180MPa	0.208MPa

参考：11月4日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.085MPa	0.100MPa
1,000rpm時	0.100MPa	0.123MPa
1,800rpm時	0.170MPa	0.200MPa

作 業 報 告 書

No (8)

報告者職氏名	
作業日時	令和 5年 12月 16日 9時 45分 ~ 11時 05分
作業内容	<p>スーパー千鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・サニタリーポンプ作動テスト及び点検 ・機関室送風機送風機作動テスト ・航海灯 (マスト灯・舷灯・船尾灯) 点灯テスト ・レーダー・GPS作動テスト
特記事項	
<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 9:50~10:00 1,000rpm 10:00~11:00 定格回転数(60Hz) 船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 10:05~右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 10:10~左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドル時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 10:15~10:25(アイドル回転数), 10:25~10:40 (1,000rpm) で暖機運転および点検 10:40~10:45 (1,800rpm) 10:15~10:25 (アイドル回転時, 両舷前後進テスト) <p>3 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舵機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>3 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,730ℓ ・左舷燃料タンク残 1,660ℓ <p>4 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開閉リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては、燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。) ・バッテリーが弱っている (セルモーターの回りが悪い)。 	

特 記 事 項

・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。(清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い)
清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.105MPa	0.100MPa
1,000rpm時	0.125MPa	0.120MPa
1,800rpm時	0.196MPa	0.200MPa

参考：12月2日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.090MPa	0.105MPa
1,000rpm時	0.110MPa	0.125MPa
1,800rpm時	0.180MPa	0.208MPa

課長	課長補佐	係長	係

作 業 報 告 書

No (9)

報告者職氏名	
作業日時	令和 5年 12月 29日 9時 45分 ~ 10時 50分
作業内容	<p>スーパー千鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・サニタリーポンプ作動テスト及び点検 ・機関室送風機送風機作動テスト ・航海灯 (マスト灯・舷灯・船尾灯) 点灯テスト ・レーダー・GPS作動テスト
特記事項	<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 9:45~9:50 1,000rpm 9:50~10:50 定格回転数(60Hz) 船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 9:55~右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 10:00~左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドルリング時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 10:05~10:25(アイドルリング回転数), 10:25~10:35 (1,000rpm) で暖機運転および点検 10:35~10:40 (1,800rpm) 10:10~10:25 (アイドルリング回転時, 両舷前後進テスト) <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舷機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>3 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,680ℓ ・左舷燃料タンク残 1,665ℓ <p>4 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開限リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては, 燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。) ・バッテリーが弱っている (セルモーターの回りが悪い)。

特記事項

・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。(清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い)
清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.092MPa	0.100MPa
1,000rpm時	0.108MPa	0.120MPa
1,800rpm時	0.180MPa	0.200MPa

参考：12月16日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.105MPa	0.100MPa
1,000rpm時	0.125MPa	0.120MPa
1,800rpm時	0.196MPa	0.200MPa

作 業 報 告 書

No (12)

報告者職氏名	
作業日時	令和 6年 2月 10日 9時 30分 ～ 10時 40分
作業内容	スーパー千鳥 <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・サニタリーポンプ作動テスト及び点検 ・機関室送風機送風機作動テスト ・航海灯 (マスト灯・舷灯・船尾灯) 点灯テスト ・レーダー・GPS作動テスト
特記事項	<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 9:35～9:45 1,000rpm 9:45～10:35 定格回転数(60Hz)船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 9:50～右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 9:55～左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドリング時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 10:00～10:10(アイドリング回転数), 10:10～10:20 (1,000rpm) で暖機運転および点検 10:20～10:25 (1,800rpm) 10:00～10:10 (アイドリング回転時, 両舷前後進テスト) 10:30 (両主機関停止) <p>3 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舷機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>4 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,680ℓ ・左舷燃料タンク残 1,620ℓ <p>5 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開限リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては、燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。)

特記事項

- ・バッテリーが弱っている（セルモーターの回りが悪い）。
- ・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。（清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い）
清水圧力
- ・右主機関海水圧力計の動きが悪い（海水圧力取出しパイプが詰り気味の疑い。）。
- ・船尾係船機作動テストせず（使用不可と記載のため）。

清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.090MPa	0.102MPa
1,000rpm時	0.103MPa	0.110MPa
1,800rpm時	0.172MPa	0.203MPa

参考：1月27日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.090MPa	0.102MPa
1,000rpm時	0.105MPa	0.110MPa
1,800rpm時	0.170MPa	0.202MPa

作 業 報 告 書

No (13)

報告者職氏名	
作業日時	令和 6年 2月 24日 9時 35分 ~ 10時 55分
作業内容	<p>スーパー千鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・サニタリーポンプ作動テスト及び点検 ・機関室送風機送風機作動テスト ・航海灯 (マスト灯・舷灯・船尾灯) 点灯テスト ・レーダー・GPS作動テスト
特記事項	<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 9:40~9:50 1,000rpm 9:50~10:50 定格回転数(60Hz) 船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 9:55~右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 10:00~左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドルリング時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 10:05~10:20(アイドルリング回転数), 10:20~10:30 (1,000rpm) で暖機運転および点検 10:30~10:35 (1,800rpm) 10:05~10:20 (アイドルリング回転時, 両舷前後進テスト) 10:40 (両主機関停止) <p>3 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舵機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>4 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,670ℓ ・左舷燃料タンク残 1,600ℓ <p>5 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開閉リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては, 燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。)

特記事項

- ・バッテリーが弱っている（セルモーターの回りが悪い）。
- ・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。（清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い）
- ・右主機関海水圧力計の動きが悪い（海水圧力取出しパイプが詰り気味の疑い。）。
- ・船尾係船機作動テストせず（使用不可と記載のため）。

清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.092MPa	0.100MPa
1,000rpm時	0.105MPa	0.120MPa
1,800rpm時	0.175MPa	0.205MPa

参考：2月10日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.090MPa	0.102MPa
1,000rpm時	0.103MPa	0.110MPa
1,800rpm時	0.172MPa	0.203MPa

作 業 報 告 書

No. (10)

報告者職氏名	
作業日時	令和 6年 1月 13日 9時 15分 ～ 10時 30分
作業内容	<p>スーパー千鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・サンタリーポンプ作動テスト及び点検 ・機関室送風機送風機作動テスト ・航海灯 (マスト灯・舷灯・船尾灯) 点灯テスト ・レーダー・GPS作動テスト
特記事項	
	<p>1. 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 9:20～9:30 1,000rpm 9:30～10:25 定格回転数(60Hz) 船内給電 <p>2. 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 9:35～右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 9:40～左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドルリング時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 9:45～10:00(アイドルリング回転数), 10:00～10:10 (1,000rpm) で暖機運転および点検 10:10～10:15 (1,800rpm) 9:45～10:00 (アイドルリング回転時, 両舷前後進テスト) <p>3. その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舷機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>3. 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,680ℓ ・左舷燃料タンク残 1,620ℓ <p>4. 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開限リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては、燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。) ・バッテリーが弱っている (セルモーターの回りが悪い)。

特記事項

- ・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。(清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い)
清水圧力
- ・右主機関海水圧力計の動きが悪い(海水圧力取出しパイプが詰り気味の疑い。)

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.090MPa	0.092MPa
1,000rpm時	0.110MPa	0.113MPa
1,800rpm時	0.180MPa	0.195MPa

参考：12月29日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.092MPa	0.100MPa
1,000rpm時	0.108MPa	0.120MPa
1,800rpm時	0.180MPa	0.200MPa

作 業 報 告 書

No. (特)

報告者職氏名	
作業日時	令和 6年 1月 27日 9時 15分 ~ 10時 30分
作業内容	<p>スーパー千鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・サニタリーポンプ作動テスト及び点検 ・機関室送風機送風機作動テスト ・航海灯 (マスト灯・舷灯・船尾灯) 点灯テスト ・レーダー・GPS作動テスト
特記事項	<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 9:25~9:35 1,000rpm 9:35~10:30 定格回転数(60Hz) 船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 9:40~右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 9:45~左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドル時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 9:50~10:05(アイドル回転数), 10:05~10:15 (1,000rpm) で暖機運転および点検 10:15~10:20 (1,800rpm) 9:50~10:05 (アイドル回転時, 両舷前後進テスト) 10:25 (両主機関停止) <p>3 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舵機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>4 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,680ℓ ・左舷燃料タンク残 1,620ℓ <p>5 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開限リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては、燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。)

特記事項

- ・バッテリーが弱っている（セルモーターの回りが悪い）。
- ・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。（清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い）
清水圧力
- ・右主機関海水圧力計の動きが悪い（海水圧力取出しパイプが詰り気味の疑い。）。
- ・船尾係船機作動テストせず（使用不可と記載のため）。

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.090MPa	0.102MPa
1,000rpm時	0.105MPa	0.110MPa
1,800rpm時	0.170MPa	0.202MPa

参考：1月13日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.090MPa	0.092MPa
1,000rpm時	0.110MPa	0.113MPa
1,800rpm時	0.180MPa	0.195MPa

作 業 報 告 書

No (14)

報告者職氏名	
作業日時	令和 6年 3月 9日 9時 30分 ~ 10時 40分
作業内容	<p>スーパー千鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 ・(両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・サンタリーポンプ作動テスト及び点検 ・機関室送風機送風機作動テスト ・航海灯(マスト灯・舷灯・船尾灯)点灯テスト ・レーダー・GPS作動テスト ・汽笛テスト ・探照灯点灯テスト
特記事項	<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 9:30~9:45 1,000rpm 9:45~10:35 定格回転数(60Hz) 船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 9:45~右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 9:50~左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドルリング時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 9:55~10:10(アイドルリング回転数), 10:10~10:20 (1,000rpm) で暖機運転および点検 10:20~10:25 (1,800rpm) 9:55~10:10 (アイドルリング回転時, 両舷前後進テスト) 10:30 (両主機関停止) <p>3 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舵機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>4 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,670ℓ ・左舷燃料タンク残 1,600ℓ <p>5 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開限リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては、燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。)

特記事項

- ・バッテリーが弱っている（セルモーターの回りが悪い）。
- ・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。（清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い）
- ・右主機関海水圧力計の動きが悪い（海水圧力取出しパイプが詰り気味の疑い。）。
- ・船尾係船機作動テストせず（使用不可と記載のため、シーラインの船員に確認すると動かない）。

清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	— MPa	— MPa
1,000rpm時	0.110MPa	0.123MPa
1,800rpm時	0.183MPa	0.205MPa

（アイドル回転時、計測し忘れ。）

参考：2月10日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.092MPa	0.100MPa
1,000rpm時	0.105MPa	0.120MPa
1,800rpm時	0.175MPa	0.205MPa

課長	課長補佐

環境係 合議

作業報告書

No. (15)

報告者職氏名	
作業日時	令和 6年 3月 23日 8時 20分 ~ 9時 35分
作業内容	<p>スーパー千鳥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関および両舷主機関暖機運転 ・自動タラップ開閉テスト ・両舷主機関前後進クラッチ嵌合テスト ・操舵機作動テスト ・各空所点検 (両舷操舵機油漏れ点検, 水中翼兼自動タラップ用油圧装置油量点検及び油漏れ点検) ・各アース点検 ・サニタリーポンプ作動テスト及び点検 ・機関室送風機送風機作動テスト ・航海灯 (マスト灯・舷灯・船尾灯) 点灯テスト ・レーダー・GPS作動テスト ・汽笛テスト ・探照灯点灯テスト ・操舵室及び2階客室空調機作動テスト
特記事項	<p>1 補機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関潤滑油および冷却水確認 8:25~8:35 1,000rpm 8:35~9:30 定格回転数(60Hz) 船内給電 <p>2 主機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両舷主機関潤滑油および冷却水確認 ・両舷潤滑油プライミングポンプ起動 8:40~右舷潤滑油プライミングポンプ起動, 8:45~左舷潤滑油プライミングポンプ起動 ・両主機関アイドルリング時, 各部点検後操舵室にて暖機運転開始(操舵室操縦ハンドルにて回転数調整) 8:55~9:05(アイドルリング回転数), 9:05~9:15 (1,000rpm) で暖機運転および点検 9:15~9:20 (1,800rpm) 8:55~9:05 (アイドルリング回転時, 両舷前後進テスト) 9:25 (両主機関停止) <p>3 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 両舷自動タラップ開閉テスト (船首水中翼兼自動タラップ油量及び漏れ確認) 2 各空所及び両舵機室点検 3 操舵機作動テスト (油量確認) <p>4 燃料油残</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右舷燃料タンク残 1,650ℓ ・左舷燃料タンク残 1,550ℓ <p>5 注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補機関ガバナモーター故障のため, 取り外されていて回転数の調整は手動で行う。 ・両舷自動タラップ開限リミットスイッチ不良。 ・左舷操舵機船首側油圧シリンダー漏油有 (少し滲む程度) ・右舷主機関の始動性が悪い。 (症状としては、燃料系に空気が混入している症状。一度回転が安定すると症状はなくなる。)

特記事項

- ・バッテリーが弱っている（セルモーターの回りが悪い）。
- ・左右の主機関清水圧力に圧力差がある。（清水圧力センサーの不良及びセンサー配管のつまりの疑い）
- ・右主機関海水圧力計の動きが悪い（海水圧力取出しパイプが詰り気味の疑い。）。
- ・船尾係船機作動テストせず（使用不可と記載のため、シーラインの船員に確認すると操作ボタンを押しても動かない）。

清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	0.083MPa	0.103MPa
1,000rpm時	0.100MPa	0.120MPa
1,800rpm時	0.165MPa	0.200MPa
(アイドル回転時、計測し忘れ。)		

参考：3月9日スーパー千鳥清水圧力

	左舷主機関	右舷主機関
アイドル回転時	— MPa	— MPa
1,000rpm時	0.110MPa	0.123MPa
1,800rpm時	0.183MPa	0.205MPa